

みんなでももろう

た よう せい

# なごやの生物多様性



なごや生物多様性センター



なごや生物多様性センター

# なごやの人と生きもののつながり

大都市でありながら、  
名古屋市には約6,500種もの動植物が  
生育・生息しています。

これらの生きものたちと私たち人間は、  
お互いに関わり合いながら  
支えあって生きています。



# 生きものたちの豊かな個性とつながり

## 生物多様性

生きものには一つひとつに個性があります。

生きものたちが互いにつながりあい、さまざまな環境に合わせて生活していることを「生物多様性」といい、3つの多様性によって成り立っています。

### 生態系の多様性

さまざまな環境に応じて、さまざまな生態系が形成されます。



### 種の多様性

ひとつの生態系にはさまざまな種が生育・生息しています。

### ナゴヤダルマガエル

ギギー

ギギギ...



名古屋種族



岡山種族

同じ種でも、鳴き声、姿形、生態などが異なります。

### 遺伝子の多様性

# 生物多様性からの恵み

## 生態系サービス

わたしたちが生きていく上で、水や食料、酸素などは欠かせません。

また、安心・安全に生活するには、洪水などの災害を防ぐことが大切です。

さらにレクリエーションや郷土の料理は、私たちに豊かな文化をもたらします。

こうした生物多様性からの恵みを、「生態系サービス」といいます。

### 供給サービス



### 調整サービス

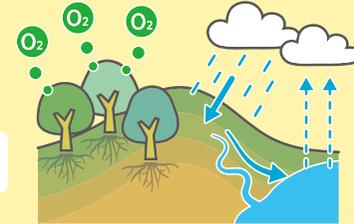


### 文化的サービス



### 基盤サービス

酸素の供給



豊かな土壌

水の循環

### Action!

生物多様性からの恵みにはどのようなものがあるか考えてみよう。

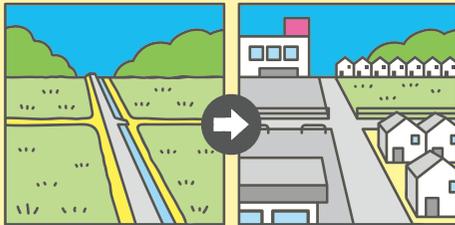
参考サイト：環境省



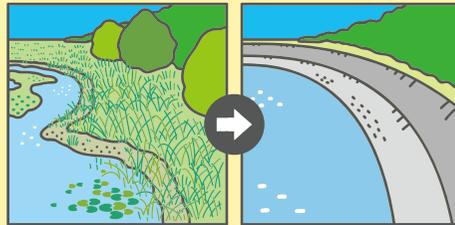
# いま、生物多様性が 危ない!?

わたし  
私たち人間の活動によって、世界中で生物多様性がさまざまな危機にさらされています。名古屋市でも絶滅のおそれのある生きもの(絶滅危惧種)が増え続けています。

## 開発などによる危機

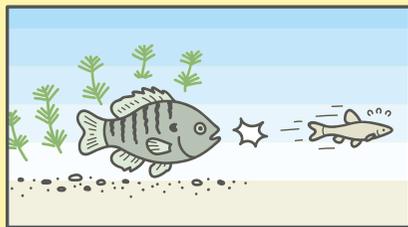


さとやまりん たくちぞうせい  
里山林や水田が宅地造成され、動植物の生育・生息地が失われる。

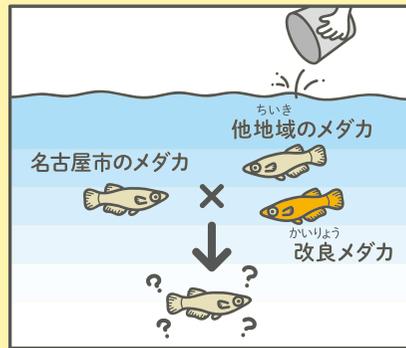


いこうたい  
エコトーン(移行帯)の消失により、湿生植物や昆虫類などが激減する。

## 外来生物による危機

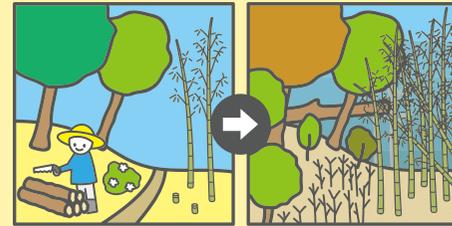


がいらいしゆ ざいらいしゆ  
国内外の外来種によって、在来種が捕食や競争の危機にさらされたり、病原菌が持ち込まれる。

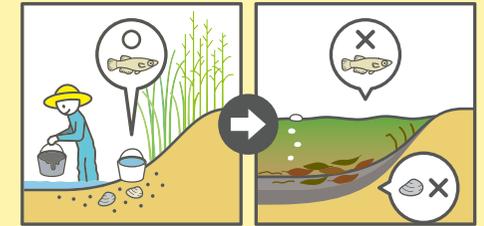


ちいき こ  
在来種であっても、他地域から持ち込まれたものと交雑すると、その地域特有の遺伝子や性質が失われるおそれがある。

## 自然に対する働きかけの縮小による危機



さとやまりん  
里山林の手入れ不足によって、里山林特有の生きもの(絶滅危惧種)の生息環境がなくなり、生物相が貧弱になる。



いけば じっし  
池干しを実施しなくなったことで、池の富栄養化が進むなど、湖沼環境が悪化する。

## 地球環境の変化による危機



おんだん なんぼうけい  
温暖化によって南方系の生きもの(絶滅危惧種)の分布域が広がる一方で、暑さに弱い在来種の分布域が狭くなる。

## Action!

ぜつめつきぐしゆ がいらいしゆ  
名古屋市の絶滅危惧種と外来種を調べてみよう。

たようせい きぎ  
生物多様性の危機は、遠い世界のことに感じるかもしれませんが、実は私たちの生活に影響を及ぼしています。例えば、名古屋名物の「ひつまぶし」に使われているニホンウナギは、絶滅危惧種となっています。絶滅危惧種や外来種について、どのくらい知っていますか？

さがしてみよう!

9~16ページにいる  
外来種をさがしてみよう



レッドデータブックなごや



なごやの外来種



# 名古屋市の自然環境

かんきょう

名古屋市には

-  さとやまりん  
**里山林・ため池** p.9-10
-  かせん  
**河川・水田** p.11-12
-  かこう ひがた  
**河口・干潟・海** p.13-14
-  しがいち  
**市街地** p.15-16

といった環境があり、  
各環境に適応した

さまざまな動植物が生育・生息しています。



名古屋市の生きものがいるところ

さとやまりん  
里山林・ため池

かつて東部の丘陵地には、里地里山が広がっていました。

宅地や道路の建設などによってその大部分は失われてしまいましたが、開発を免れた場所が緑地や公園として残っていて、動植物の貴重な生育・生息地となっています。

そのため、市内でも特に動植物の多様度が高い環境です。

Action!

遊びに行ってみよう!

市内の東部にある緑地や公園には昔の里地里山が感じられる森があり、数多くの植物や動物が生育・生息しています。

どんな生きものを見つけることができるかな?

どこに行けばいいの?

- ちくさ ひがしやまこうえん へいわこうえん  
千種区(東山公園・平和公園)
- もりやま とうごくさん おぼたりよくち  
守山区(東谷山・小幡緑地)
- みどり おおだかりよくち たきのみずりよくち  
緑区(大高緑地・滝ノ水緑地)
- めいとう いたかりよくち まきのがいけりよくち  
名東区(猪高緑地・牧野ヶ池緑地)
- てんぱく あいおいやま てんぱくこうえん あらいけりよくち  
天白区(相生山・天白公園・荒池緑地)

などがあるよ!



ヤマトタマムシ

トウカイコモウセンゴケ

シラタマホシクサ

ミミカキグサ

ハッチョウトンボ

ガマ

ムササビ

オオタカ

ガガブタ

ヒクイナ

ヒシ

えつどう  
越冬するよ

コバノミツバツツジ

カワセミ

トウカイヨシノボリ

ブルーギル

ウシガエル

竹林

ササユリ

アメリカザリガニ

コナラ林・アベマキ林

ニホンイシガメ

コクワガタ

キタキチョウ

ニホンマムシ

オワリサンショウウオ

アズマヒキガエル

アライグマ

シジュウカラ

ゆうすいしっち  
湧水湿地

コゲラ

ニホンアカガエル

# 名古屋市の生きものがいるところ

かせん

## 河川・水田

市内には河原のある大きな河川や、街中を流れる河川・用水路がいくつもあります。

また、古くから人間が管理してきた水田には、河川から用水路を経て水が引き込まれています。

その流れを伝って、河川と水田を往来する生きものもいます。

### Action!

#### 生きものを野外に放さないで!

ペットや他の地域から持ってきた生きものを野外に放すと、そこに生息している生きものと競合するおそれがあります。メダカやホタルなどは、例え同じ種であっても生息地によって遺伝子が異なるため「国内由来の外来種」となってしまいます。



かわら河原や用水路は生きものすみかや移動経路として大切な場所だよ

おちたらでられない

ゆーじこう U字溝

# 名古屋市の生きものがいるところ

## 河口・干潟・海

河口には淡水と海水が混ざり合う汽水域があり、生きものにとって重要な環境となっています。

また、庄内川や新川などにはダムや河口堰がないため、河口に砂や泥が堆積し、藤前干潟が形成されています。

干潟は満潮時には海中、干潮時には砂泥地が露出するというサイクルを繰り返しているため、特有の生きものが生息しています。



### Action!

#### ゴミを分別・リサイクルしよう!

人口の増加とともにゴミの量が増え続けた結果、生きものすみかである藤前干潟をゴミの埋め立て候補地とせざる得ませんでした。しかし、多くの市民の声でこの計画は中止され、「ごみ非常事態宣言」以降の取り組みによってゴミの埋め立て量は10分の1以下となりました。

私たちの努力で貴重な自然は守れます。分別やリサイクルでゴミを減らす工夫をしましょう。

稚アユは遡上する前に汽水域で体を馴らすよ

川と海を回遊するよ

わた渡り鳥のちゅうけいち中継地だよ

名古屋市の生きものがいるところ

しがいのち  
市街地

がいろじゆ ぞうせい  
街路樹や造成された公園・緑地だけでなく、名古屋城や熱田  
じんぐう  
神宮などには、古くからある緑地が残されています。

かんきよう てきおう  
市街地の環境にうまく適応している生きものがいる一方で、さ  
まざまな生息環境を必要とする生きものにとっては生きづらく、  
全体としては生きもの多様度は低くなっています。

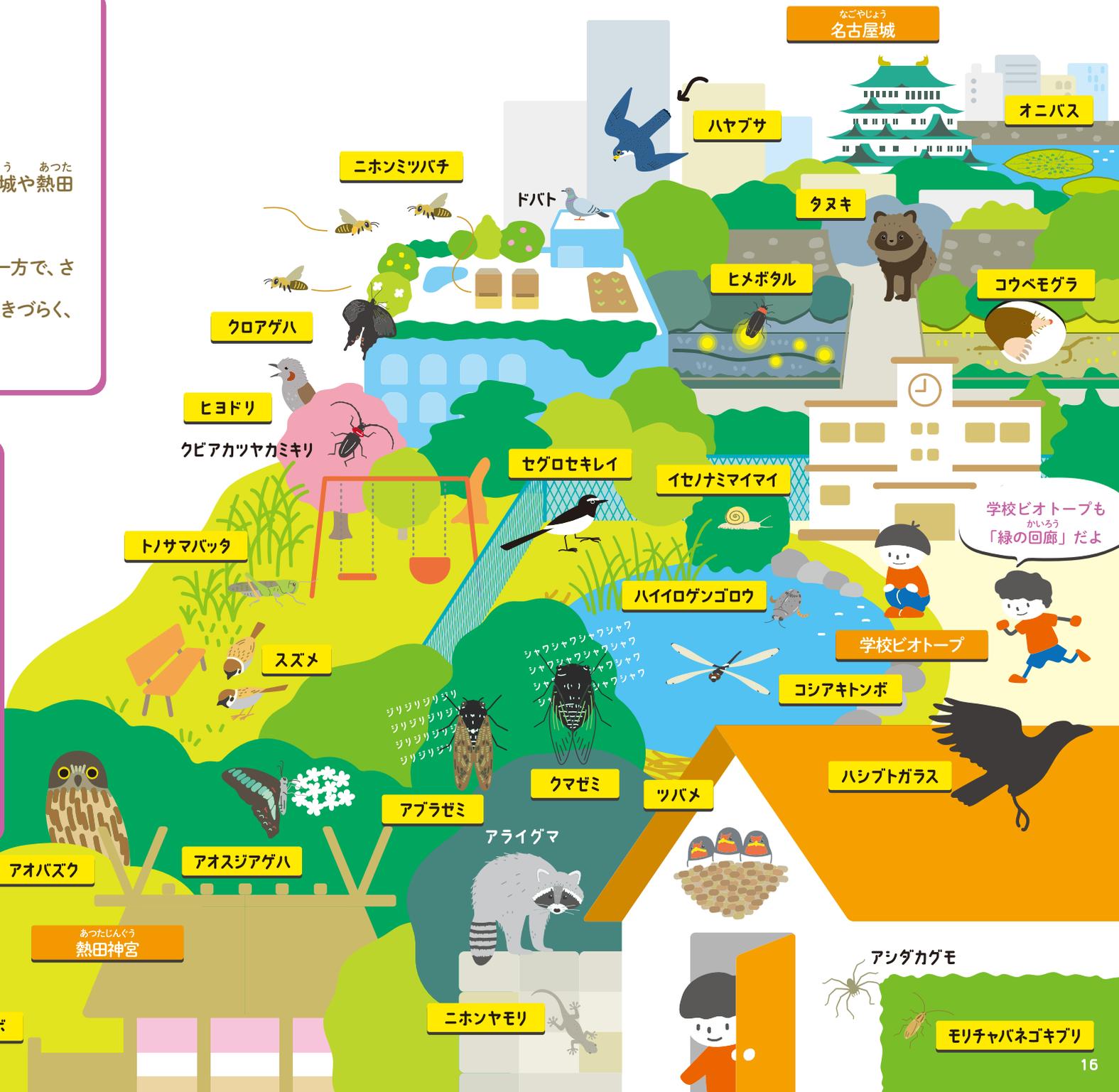
Action!

かいろう  
「緑の回廊」をつなごう!

たくちぞうせい はん  
市内では、宅地造成などによる生きもの生息地や繁  
しょくち ぶんたん  
殖地の分断・消失が各地で進行しています。

かんきよう かい  
それぞれの環境を緑地や水辺でつなぐことで「緑の回  
ろう  
廊」ができ、生きものが移動しやすくなるだけでなく、  
さまざまな環境を必要とする生きものが生息できるよ  
うになります。

家の庭やベランダに生きものが好む植物を植えたり、  
休息場所を作ることで、みんなで緑の回廊をつなぎま  
しょう!



# なごや生物多様性センター

2010年に名古屋市で生物多様性に関する国際会議 (COP10) が開催されたのをきっかけに作られた、なごや\*の身近な自然を守り育てるための拠点となっている施設です。

\*「なごや」とは、名古屋地域および伊勢湾流域圏を指します。



センター外観



センター玄関展示



ビオトープ



生息域外保全エリア

## 市民と協働する

なごや生物多様性保全活動協議会 (なごビオ) をはじめ、専門家、学校、行政などと協働して、生物調査や保全活動、外来種防除を行います。また、その成果などを発表するイベントを開催しています。



池干し



水草の生育調査



外来カミキリの防除



各種団体の出展



ユース発表

なごや生物多様性センターまつり

## 生きもの情報を収集・保管する

調査や保全活動で得られた生きものを標本にして保管しています。市内の絶滅のおそれのある種を選定した名古屋市版レッドリストとレッドデータブックなごやの作成や、外来種の防除を実施しています。



植物標本の作成



哺乳類の標本作成



液浸標本の整理



植物標本室



動物標本室



液浸標本室

## 生物多様性の大切さを伝える

センターの見学や、生きものを観察・採集するイベントを定期的で開催しています。また、市内各地で標本を用いた出張展示を行います。学生などを対象にセンター内で講座を実施したり、市内の学校などで生物多様性についての出前講座をすることもあります。



標本作成室の見学



植田川での  
生きもの観察・採集



とだがわりくち  
戸田川緑地への  
出張展示



かんきょう  
「環境デーなごや」への  
ブース出展



小学校への  
出前授業



校外学習での  
生きもの講座

## みんなでもろう なごやの生物多様性

発行：名古屋市環境局 なごや生物多様性センター

〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目 230 番地

TEL：052-831-8104 FAX：052-839-1695

E-mail：bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

Copyright© City of Nagoya. All rights reserved.

なごや生きものライブラリー

なごや生物多様性センター Nagoya Biodiversity Center

